

No. 75

2010

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大沢 操
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



謹賀新年
今年もよろしく
お願いします



平成二十二年の幕開けはおもわず手を合わせたくなる様な初日の出であった。やはり元旦は雪景色が似合う。凍てつく寒さの中で、本年の平穏無事を祈った。

世相を象徴する漢字は、平成二十一年は「新」と発表されました。民主党新政権、新型インフルエンザ、エコポイントなどの新制度の実施と共に新たな環境技術、世界経済の変化など、新たな時代の始まりと未来への希望が盛り込まれている。

しかしながら、一向に経済は上向かず不況が続き、雇用の面でも都内の年越し村では何百人の方々が寂しい年を迎えた。

政治では、有権者が初めて自ら政権交代をさせたわけで、期待を裏切らないでいただきたい。

本年は「寅」年である。寅に関することわざに「虎は千里往って千里還る」なんと勢いのある言葉か。本年は冬季オリンピックの開催年でもある。この萩の郷の平穏、希望が本来の「新」の意味になるよう期待したい。

区の情勢について

区長 大沢 操

御柱の山出しが行われ
ました。

今年は、七年に一度の
御柱祭の年になります。

寅年生まれの六十歳の皆
さんを中心に、実行委員
会が組織され式年祭に向
けて準備が進められてお
りますが、「御柱」につい
ては例年大丸山と巡礼沢
から用意しておりました
が、どちらも松喰い虫の
被害にあい適当な木が無
いので、大島山堂所の区
は、四区の庭村一男さん

宅前道沿いの、
原木のあったと
伝えられている
所に建立されま
した。

児島礼順氏は
医師であり寺子
屋の師匠でもあつ
た人で、市田柿
の普及に尽力さ
れた人と伝えら
れています。顕
彰碑は「市田柿
原木の地」の所
から少し山側に
入った場所に建
立されました。



有林から選ぶこ
とになり、十一
月一日「御柱見
立て」の儀式を行いまし
た。山出しは十一月二十
二日、神事のおと御神木
を伐採し、急傾斜面を木
遣りの音頭に合わせて無
事山出しが終わり、里曳
きの出発点となる大丸山
巡礼沢に安置されました。
「市田柿原木の地」の
石碑と、児島礼順顕彰碑
の除幕式が、十二月二十
五日に行われました。

女性ふるさとの会活動

3区 杉田幸枝

町の「ふるさ
と祭り」への出
店も今年で六回
目。事の始まり
は研修旅行の帰
りのバスで、「折
角地域の仲間と
旅してる、この
集まりの力で何
かしないか」と
言ってくれた人

がいた事。まずは、研修
で体験した「おやき」を。
仲間の発案の「豆腐ピザ」
を。でもこれらは下準備
が大変、その割に配れる
数は三百、四百がやっと。

ではと、料理講習での「す
いとん」千食、それも足
らないと二千食、その数
も「無料、野菜沢山、う
まい？」で、大鍋二杯が
一時間半ほどで空。それ
を三回仕込んで一日千食
の提供です。前夜に行う
二千入分の野菜切りは大
騒ぎ、目を真赤に泣きな
がらの人、斧と木槌でカ
ボチャを割る人、ワイワ
イガヤガヤ総勢二十四人
の仲間と口も手も八丁の
作業は、大変という以上
に人との関わりの楽しさ
と、大切さを感じました。

タカートグループの活動

三區 清水 衆

僕たちTAKARTと
は、町内に住む三十歳代
から四十歳代の業種や肩
書きを越えて「若い力で
高森町を盛り上げたい」と
いう想いで集まった十

今年はお市田区の「お
しる粉屋」さんの隣に出
店させて頂き、テント張
りから片付けまでほんと
にお世話様になりました。
又地元三区からの応援も
頂き、多くの方々に感謝
致します。ただ、こうし
た形で行う事への利点は
勿論、続けていく事の難
しさも感じているところ
です。



「TAKAMORI」とは
い力で新しくSTART
させ、ART(創造)
していく」という
願いを込めて決めま
した。平成二十一年
四月に顔合わせを皮
切りに、ワークショップ
、分科会などを毎
月数回のペースで開
催し活動しています。
九月には天竜川で
のウォーターチュ
ー体験(復活させたい
)、十一月のふ
るさと祭りでは、昔
の手法にこだわった
「市田柿の柿すだれ
&吊るし体験」ブースを
出展(風景を残したい)、
十二月には飯田市のNP
O法人山法師の活動拠点
である「風の学舎」へ研修
&交流会&宿泊体験(拠
点を作ってそこから高森
町を発信したい)を行っ
てきました。

若い力で高森町を「楽
しく」「明るく」「真剣に」
一緒に盛り上げていきま
しょう！一緒に活動し

MAIL takartakart@gmail.com

また、ホームページもあります。
携帯電話でも見られますので、是非アクセス
してみてください！

HOMEPAGE <http://takartakart.web.fc2.com/>

TAKARTリーダー 中塚 功 二
(吉田 中塚工務店)

TAKART1班グループ長 清水 衆
(下市田3区 大庭)

平成21年4月結成 ★高森町 若手有志の会

TAKART (タカート)
TAKAMORI...たかもり
START...スタート



- ◆この町「高森」に、新しいポジティブな何かをスタートさせたい。
- ◆この会に集う者自身の新たなスタート
- ◆高森をアート(ART)する
⇒アート=創る・デザインする

六人のグルー
プです。TA
「TAKAMORI」を若
い力で新しくSTART
させ、ART(創造)
していく」という
願いを込めて決め
ました。平成二十一年
四月に顔合わせを皮
切りに、ワークショップ
、分科会などを毎
月数回のペースで開
催し活動しています。
九月には天竜川で
のウォーターチュ
ー体験(復活させたい
)、十一月のふ
るさと祭りでは、昔
の手法にこだわった
「市田柿の柿すだれ
&吊るし体験」ブースを
出展(風景を残したい)、
十二月には飯田市のNP
O法人山法師の活動拠点
である「風の学舎」へ研修
&交流会&宿泊体験(拠
点を作ってそこから高森
町を発信したい)を行っ
てきました。

ふるさと祭り コミュニティテント村

温かな「おしるこ」に舌鼓

し、心のこもったおしるこを

今年度の高森町ふるさと祭りが、十一月十四日(土)・十五日(日)の両日、役場前駐車場をメイン会場とし、賑やかに開催されました。この祭りに下市田区は恒例の「おしるこ」を出店し、大盛況となりました。

この店は福島副区長が森町ふるさと祭りの三役や各分館長、主事、女性ふるさと代表者など、二十八人で運営しました。

十四日は、あいにくの雨にもかかわらず、子供さんからお年寄りの方まで、多くのお客様に訪れていただき、温かく美味しいおしるこを頬張りながら楽しい会話を飛び交わしていました。

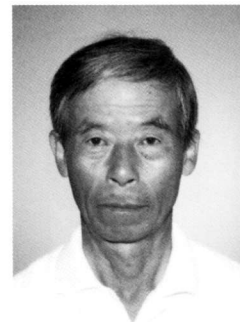
十五日は、雨も上がり良い天候になりました。この日も多くのお客様が来店し、心ももったおしるこを食べてながら、笑いや交流の輪を広げていました。おしるこを作る側は、赤のスタッフジャンパーを揃って着用。餅焼きや餡こ汁づくりに大忙しでしたが、そこは持ち前のチームワークにより上手にカバー。二日で二四〇〇食を無料提供し、コミュニティテント村の出店は今年度も大成功でした。

ご来店されたお客様は、下市田区の温かな心も一緒に召し上がっていました。来年もお出かけいただきますようお願いいたします。



萩山郷土芸能保存会

幹事長 下島 秋利



又、今年も春祭りの時期がやって参りました。昨年十二月六日の萩山郷土芸能保存会の定期総会で、私が二十二年度幹事長の大役を任命されました。未熟者ではございますが、下市田区会員の皆様のご指導とご協力を頂き、微力ではありますが一生懸命努めます。その時には大勢の方々のご観覧を頂きたく願っております。

平成二十二年度 幹事会役員

幹事長 二区 下島 秋利
副幹事長 六区 北沢 祐次
会計幹事 一区 本田 勝
副 四区 梶間 正彦
備品幹事 四区 串原 輝樹
副 三区 羽生 良治
幹事 二区 倉沢 成章
三区 久保田 敏夫
五区 小林 猛邦
五区 宮下 秀美
六区 酒井 明雄

囃子部

幹事部長 宮下 清秀
副 小川 文夫

獅子部

幹事部長 池野 剛
副 坂牧 博夫
小林 靖志
上沼 春樹



平成22年 萩山神社式年「御柱祭」 木遣り参加者募集中

楽しい「御柱祭」に

萩山神社式年御柱祭実行委員会
実行委員長 久保田 正博

新年明けましておめでとうございます。

今年も寅年で、七年に一度の『御柱祭』が執行される年にあたり、本元の諏訪市諏訪大社への注目度は大変なものがあ

ます。

さて我地元「萩山神社式年御柱

祭」は、前回までは巡礼沢神社林と大丸山公園からそれぞれ赤松を一本ずつ切り出していました。松喰い虫で枯れる等「太く素性のよい適材」が無く、今回は堂所の区山から二本共「山出し」する流れになりました。しかし山が急峻で、特に大島川の淵は梃子作業が満足にできない場所でしたので、雪が降る前に山出しを終える必要があります。昨年九月から実行委員会が立ち上がり、大島川の大越えは大型クレーンを使い、大型トラックで各御柱置場まで運ぶことに決定しました。

絵の「本梵天」作りと厳肅な入魂式を済ませ、その間何度も山に行き安全性の検討と準備をし、「山出し祭」を昨秋十一月二十二日に無事執行できました。ラッパ班を立ち上げ「木遣り」と連動し祭の雰囲気盛り上げ、

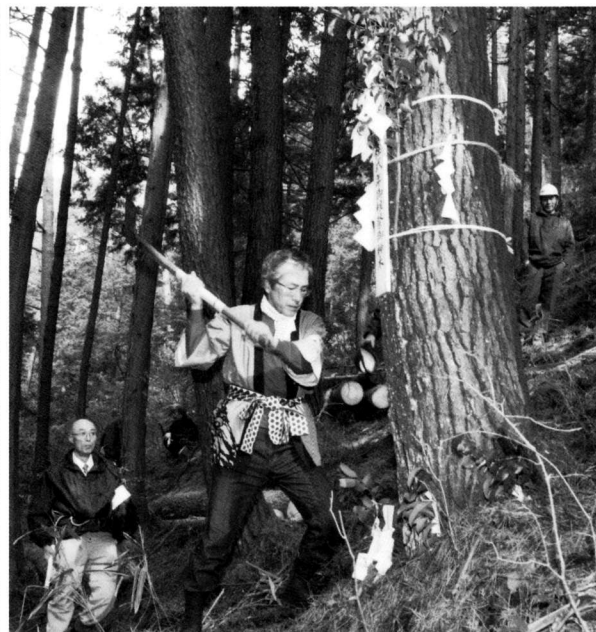
若い力を結集し早朝から暗くなるまでの行事となり、達成感あふれる直会になりました。いよいよ三月は二十一日に「綱打ち」、そして二十八日は「里曳祭」になりますので、区民総出で、区民生活の一部としての御参加を是非お願い致します。楽しんでみませんか。



本梵天作成：木札、幣束が付き完成



山出し祭：壺之柱切り倒し



山出し祭：斧入れ

救命講習会の開催

4区 竹村 征夫

以前から「防災委員は全員救命講習会に参加するべきだ」という声があり、昨年からあり、昨年十一月二十九日高森消防署のご協力により救命講習会が開催されました。

参加者は、防災委員・竹村征夫、大場優彦、三浦伊佐夫、高橋智一、松島弘幸の五名。公民館から福沢嘉言、秋田金一、北沢文治の三名。

最初に昨年六月から全戸に義務化された住宅用火災報知機の説明があり、救命処置の基本をビデオで勉強しました。その後すぐにダミーを使つての実施訓練です。傷病者に安全を確認して近づき、応答を確認。近くの人に



協力を求め、気道を確保し、呼吸を確認。呼吸が確認されなければ人工呼吸、胸骨圧迫に入り人工呼吸二回、胸骨圧迫三十回（一分間に百回）を繰り返す。二分位で息が切れてくる、腕が痛くなる、三分もやれば「誰か代わってくれ」と言いたくなる。これを救急隊が来るか「AED」が届くまで継続しなければならぬ。一人では絶対にできない、周囲の多くの人に協力を求めなければならぬと思いました。

講習会終了後は「人工呼吸できますか」「胸骨圧迫できますか」「AED使えますか」の問いに、全員が「私ができます」と答えるでしょう。

下市田学校応援隊

活動報告

一区 吉田 正治

前号に引き続き、下市田学校応援隊のことを書いておられたので、その方々書かせていただくことになりました。ご容赦下さい。

日常的にこの下市田学校舎が、町民の憩える場として提供できるようなサロンにしていきたいと考えましたが、それは地域の人達にこの下市田学校を知ってもらふ必要がありました。そこで、大勢の人に集まっていた

もう一つの初詣

日限地藏尊世話人一同

日限地藏尊様の世話人は朝五時に集合し、篝火を焚いて参拝者を待つが、今年は天候が悪くて、ほとんど参拝者が来ませんでした。

ところが日中になると参拝者が多くなりました。そこで、家族連れで参拝に来てくれた方に聴いてみると、「息子が大学と高校入試なので、願掛けに参りました。」と言っており

また別の人は「昨年願掛けして、合格した御礼に参りました。」と言ってあります。

来て下さった方には、みかん一個、お父様にはお神酒をあげると喜んで飲んでくれます。又あるお母様は、「息子がラグビーの試合があるので、怪我のないようお願いしました。」と言っておられます。

日限地藏尊様を知る方で遠い所では福井県・秋田県から賽銭を送って下さる方もいます。

余談ではありますが、先輩の話によると皆様の尊い賽銭の上がり、昨年まで飯田市社協、豊丘社協、高森社協へ義捐金寄附させてもらっています。ところが昨年から不況で賽銭の上がりも少なく、現在は高森社協に寄附をさせてもらっています。

最後に、地藏尊様にお願したら、娘さんが国家試験に合格したと言つて必ず参拝してくる方がいます。これには頭が下がります。（なお日限地藏尊のいわれは、現地に掲げてあります。）



だくことを考え、催し物を企画しました。手始めに陶芸クラブの方々が『ふれあい市陶器』を開催しました。展示を見て、欲しいと思われる方には即売もしていただきました。第二回には木造の建物にふさわしい寄席をやらうと、中央から立川ら兵さんを招いて『おいでてや寄席』を企画しま



した。前座には地元のコラスグループに参加していただきました。

ポスターを作り、区民の皆様にお知らせするためにチラシを作つて配布

しました。前日には高寿会の皆さんに応援いただき、会場を美しく整えることが出来ました。木製の古い机や椅子を並べて、当日は来場者にお好みの茶器でお茶を提供し、ゆったりとした空間で、楽しく語らいながらお茶を飲んでいただきました。お陰様で、多くの来場された皆様には満足いただけたと感じております。

今後の企画として、この下市田学校で出来ることの可能性に挑戦していきたいと思っています。

下市田のみなさん

こんにちは

四区出身 北原 和茂
(大宮在住)

半円を描きながら、静かに西の山に落ちていく。そうし

埼玉の地に職を得て三十六年、昨年退職して、現在も再任用として教職にたずさわっています。故郷の原風景がそのまま心の支えとなっています。東の前方には南アルプスの連山が横たわり、仙丈ヶ岳が泰然自若として、壮姿を見せている。奥山には赤石岳、塩見岳が顔をのぞかせ、冬になると白い帽子をかぶり大自然の美しさを際立たせている。朝は、稜線から眩しいばかりの太陽が昇り、一日をかけて、

手仕事

二区 矢澤ツユ子

暮に大変美しい松本手まりを頂いた。緑黄白橙赤金糸と多色な糸で菊を表現した見事な物でした。お静かで、勉強家の方が何時の間にかこうした作品を作られたのか驚きました。私が菊の花を好んで造っている事をご存じ



六地藏にかける

町の賑わいづくり

高森町商工会出砂原支部
前商業会長 酒井 渉

出砂原商店街は、天竜舟下り、天龍社などによって賑わいを支えた時代から郊外出店型商業の出現、消費者行動の多様化の影響など、時代の変遷とともに衰退の一途を辿ってきました。そこで、地域資産の再発見の切り口から、この地域固有の史蹟である六地藏さんに一役買っていただき、子守り地蔵さんに願う集いと幸



福感に浸れる街おこしを導き出したのでした。小売店や料理屋で賑わいの商店街が形成されていた昭和初期の頃、六地藏さん付近で番頭さんたちが縁日を開いていた伝えもあり、古来伝承として今につながっている地域史蹟を活かす

ことで、この街にきたくなる魅力を創り出し、新たな出砂原の街づくりを活かしていけるのでは、と考えたのです。平成二十年度には縁寺でもある安養寺ご住職の供養読経をいただき、六地藏さんが立像している場所に竹垣やベンチなどの整備と、付近に江戸時代の由来を記した表示看板を設置しました。また、六地藏さんのゆるキャラとして六地藏さんへの案内役をイメージした市田柿を手に抱いた「市田柿子地蔵さ

で菊を選ばれたのか？一針一針私の事を想い作る針の事を想い作る針か？一針一針私の事を想い作る針の事を想い作る針



着を作って着せて自己満足していました。そうこうしている間に手仕事が好きになり、編機を買い、家族や親類の物を編んで悦に入っていました。

たが、一番勉強し自信の持てたのが手編でした。下市田にお世話になって二十五年、家屋敷を置いて来ましたが、気に入った所へ来られて、周りの方々に恵まれて、毎日好きな事が出来て日々小さな幸せを感じています。編物を通して知り合った多くの方々が今一番の私の宝物になりました。手間の掛かる手仕事を作品に想いを込めてその時間を永く楽しみたいと思います。私のモットー和顔愛語で好々婆になりたいと思っています。

大好きなスキー

小五 壬生和音(三区)



私は、雪を見るとスキーがしたくてたまらなくなります。スピードを出しているいろいろなコースをするスキーが好きです。私が初めてスキーをし

たのは、小学ね。」と言ってもね。たので、とてもうれしかったです。なので、今シーズンもいっぱいスキーをしてもっと上手になりたいと思っています。

私が今まで行ったスキー場の中で、一番のお気に入りには、「斑尾高原スキー場」です。スキースクールの先生もやさしくて、コースも充実しているからです。あと、食事もいいです。特に私はカレーが大好きです。今年もたくさん斑尾高原で、スキーがしたいです。

私は、雪を見るとスキーがしたくてたまらなくなります。スピードを出しているいろいろなコースをするスキーが好きです。私が初めてスキーをし

私は、雪を見るとスキーがしたくてたまらなくなります。スピードを出しているいろいろなコースをするスキーが好きです。私が初めてスキーをし

僕は高森南スポーツ少年団

小五 熊谷相良(一区)



僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。

僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。

僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。

僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。



地域の紹介

町の中心地にあつて

一区自治会長

吉川 登

一区は高森町のほぼ中央に位置して、役場・小中学校・公民館・体育館・福祉センター・歴史資料館等、行政・教育・

2で勝った。「やった！」あと一試合勝つと優勝だ。

「勝つ」という思いだけで次の試合に臨んだ。三試合目は鼎ブルーキングスだ。一回の表と裏は無得点だった。二回に謙汰君がツーベースヒットを打った。次は僕の番だ。

「ヒットを打って次に上がる」とやることはわかっていて、「カキーン」ヒットを打った。監督がほめてくれた。僕のヒットで1点も取りその後4点を取って5点差になった。その後は3点取られたが、何とか抑えて勝った。初めての優勝だった。最後はみんな喜んで。またみんな優勝目指してがんばりたい。

僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。

僕たちは高森南野球スポーツ少年団だ。まだ野球のルールがわからない人もいるけど、キャプテンやレギュラーの人がカバーしていく。今日は待ちに待った野球の大会だ。



地域内の親睦を図つており、特に昨秋の町民運動会では女性・子供応援団を結成し、大いに盛り上げていただきました。

又常会毎には趣向を凝らした催物で親睦を図っていただいております。

区内はまだまだ未整備な道路、改良を必要とする水路・河川、安全施設等があり、又地すべり危険箇所もあつて、安全で安心して暮らせるよう地域の皆様のご協力と、全区民が気軽に参加交流出来るイベントを計画しております。

地元施設の紹介

長野県警察本部交通部 交通機動隊飯田分駐隊の紹介をします。

県警交通機動隊は、長野・上田・諏訪・松本など県内七つの分駐隊があり、主に幹線道路を中心に交通事故死亡事故抑止のため、白バイ・パトカーの機動力を生かした交通指導取締りにあたっています。

また、二輪車教育、交通安全イベント、マラソン・駅伝警備の先導等の活動も行っています。そして昨年

これまでの伊那分駐隊は二〇〇二年に伊那市から辰野町に移り、塩尻署から阿南署管内の県境まで活動していましたが、

県南部における活動を強化するため、昨年八月に当地下市田に拠点を移すと共に「飯田分駐隊」と改称して新たなスタート

委員会活動報告

林務委員長 吉田 重和

日頃から林務委員の活動に対し、ご理解とご協



平成二十一年度の活動は、四月の年度計画に基づき、最初の準備作業に工具を安全に使用するためにチェーンソーの取扱い講習会を実施し、基本を学びました。

区民の皆様に出勞していただいている作業を含め、年に十回程下草がり・山道の補修等を行っています。正月の御神木、神社境内のかがり火の準備も大事

平成二十二年「萩山神社式年御柱祭」の事前準備の御柱山出し・皮むきを十一月二十二日に実施しました。急傾斜で足場の悪い中、安全にでき、実行委員会に協力することができました。三月の本番に向けて準備作業を進めて行きたいです。

森林の大切さが見直しされております。少しでもより良い環境作りができるように、皆で勤めたいと思います。

この新たな拠点で地域住民の期待に応えるため、一丸となって職務に邁進して参りますので、御理解と御支援のほどよろしくお願いいたします。



駐隊が「団体優勝」を果たし、大いに士気を高揚させることができました。

ところで、平成二十一年の県下の交通情勢は、交通事故件数、死者・傷

者数とも減少できましたが、急激な高齢化社会を反映して、高齢者の死者

が全体の半数を超え、飲酒運転等の悪質・危険違反も後を絶たない状況にあります。

また当高森町にあっては昨年は死者二人で、件数・傷者共に大幅増加しています。

そこで私たち隊員は、この新たな拠点で地域住民の期待に応えるため、

一丸となって職務に邁進して参りますので、御理解と御支援のほどよろ

しくお願いします。

区民会館大掃除

師走を迎えた十月六日の日曜日、年末恒例の区民会館の大掃除を支館の三役、支館部員、分館長、主事の皆さんで行いました。

午後二時より三時半まで各班に分かれ、玄関や天井のすす払い、窓ふき、大ホールの床拭き、各部屋・台所・トイレの清掃と手際よく作業が進みました。

区民会館を利用する皆様が気持ちよく使って頂けるように努めます。

今年度は、隅々まできれいにしました。

これからも地域の皆様との交流の場所として大勢の皆様にご利用頂けるように願っています。



編集後記

何か紙面が変わったなと感じませんでしたか。

今号から文字が大きくなりました。従来の10ポイントから11ポイントの字となり、一段が11文字34行となりました。

文字を大きくしてほしいとの要望に沿ったものです。

これから「萩の郷」にお気付きの点がありましたら、お声をお寄せ下さい。

今年度は、隅々まできれいにしました。

今年度は、隅々まできれいにしました。